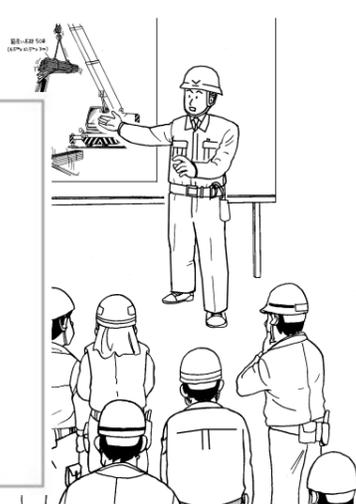


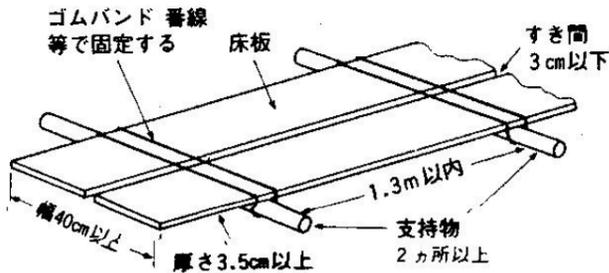
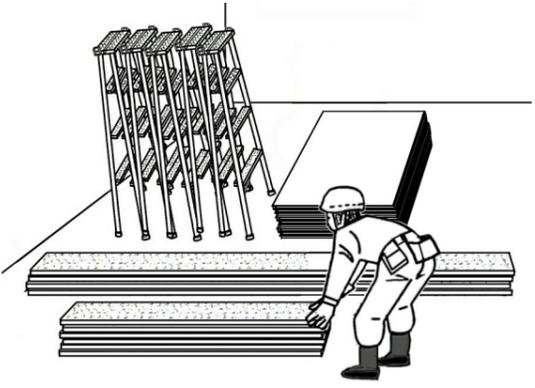
作業手順書		工種	内装工事	必要な資格等	建設用リフトの運転特別教育修了者 玉掛け技能講習修了者 高所作業車の運転特別教育修了者 職長教育講習修了者
作業名	天井・壁ボード貼り作業	使用機械	タワークレーン、ロングスパン EV、フォークリフト、高所作業車、ローリングタワー脚立、足場、可搬式作業台、マルチステージ		
会社名	有限会社 内装工業	使用工具	ワンタッチドリル、コンプレッサー、タッカー、コードリール(ドラム)カッター、電動丸のこ		
職長名	山田 太郎	保護具	安全帽、安全靴、安全帯、保護めがね、防塵マスク、保護手袋		
作業人員	3名	その他	プラスターボード、フレキシブルボード、ジブトーン、ミネラートン ケイカル板、ビス、見切り、接着材		

区分	作業の手順	安全のポイント	予想される災害要因	重篤度	頻度	見積り	優先度	リスク低減措置	実施者	備考
準備作業	1. 作業前打合せ	・安全教育の徹底		0	0	0	0	・工事担当者及び職長は本書で規定することを熟知し、末端の作業員まで周知徹底させる	職長	
	2. 朝礼に参加	<a href="https://www.sekouya.com">https://www.sekouya.com</a>								
	3. 作業前ミーティング(KYK)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業グループ毎に責任者を決め、内容、場所等を全員で確認する</li> <li>・予想される危険を確認し打合わせする</li> <li>・ATK活動を実施する</li> <li>・作業前に作業場所を点検、確認する</li> </ul>		0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい服装、保護具の着用を全員で確認する</li> <li>・指差喚呼の励行</li> <li>・安全帯の使用について周知徹底する(高所作業、開口部廻り等)</li> </ul>	職長	

区分	作業の手順	安全のポイント	予想される災害要因	重篤度	頻度	見積り	優先度	リスク低減措置	実施者	重篤度	頻度	見積り	優先度	備考
本 作 業	1) 準備作業									3	2	5	2	
	1. 作業の分担を決める 2. 作業開始前点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>持込機械等使用届受理証の確認</li> <li>機械工具の点検</li> <li>作業前に作業場所を点検、確認する</li> <li>仮設資材の点検、確認をする</li> <li>作業足場の点検、確認をする</li> <li>電動工具のチェック</li> <li>破損品の有無、台数チェック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感電の危険</li> <li>巻き込まれ</li> </ul>	0 3	0 2	0 5	0 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>方法、手順を確認し周知徹底させる</li> <li>電線は3芯コードを使用し、アース付コンセントを使用する。 (二重絶縁電動工具は除く)</li> <li>電動丸のこ 安全カバーの働きの確認。 各部のネジの緩みがないが確認。</li> <li>エア釘打機 エアホースの接続状況の確認。 防塵カバーの働きの確認。 各部のネジの緩みがないが確認。 安全装置の確認。</li> </ul>	職長 作業 者					
	2) 材料搬入											4	1	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>資材の集積場所の状態や、資材の重量に対する適否を確認する。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>仮設照明を確保する</li> <li>重い物は二人で運搬する</li> </ul>						
	3) リフトでの上下運搬	<ul style="list-style-type: none"> <li>リフト運転者と荷の取り扱い作業者とで、取り込み場所や合図を打合せる。</li> <li>荷台の積載荷重を確認する。</li> <li>荷崩れしないように荷を積み込む。</li> <li>リフトの昇降を、のぞき込んで確かめたりしないようにする。</li> <li>積み込み、取り込みが終了したら、確実に運転者に合図する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>荷物の落下</li> <li>はさまれの危険</li> <li>無資格者作業</li> </ul>	6	2	8	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>確実にリフトが停止したことを確認してから積み込み・取り込み作業を行う。</li> <li>積み込み後、リフト前の手すりを復旧する。</li> <li>積み込み取込みには安全帯を必ず使用する。</li> <li>台車は動かないように歯止めをする</li> <li>積載荷重を超えて積み込まない。</li> <li>有資格者による適正配置を行う</li> </ul>		6	1	7	2	

<https://www.sekouya.com>

区分	作業の手順	安全のポイント	予想される災害要因	重篤度	頻度	見積り	優先度	リスク低減措置	実施者	重篤度	頻度	見積り	優先度	備考
本	4) 足場を組立てる									6	1	7	2	
	1. 脚立足場板使用の場合	・足場板は原則として3点支持とし跳ね出し部分は10~20cmとする ・足場板と脚立又は足場板の結束をゴムバンドで行う	・転倒 ・つまづき、転倒 ・踏みはずす	6	4	10	4	・脚立を単独で使用しない ・足場板は隙間無く配置する ・足場上に物を置かない ・柱廻り等で隙間が生じた場合は、足場板等でふさぐ	作業員					
	2. 立馬、のび馬使用の場合	・高さ1.7m以上の場合使用しない	・転倒 ・墜落	6	4	10	4	・設置作業はのび馬が水平に保つ安定した場所とする ・荷物を持って登り降りしない	作業員					
	3. 移動式足場(マルチステージ等)の場合	・危険と表示してある所に絶対に手をおいて開かない ・無理して昇ったり、飛び降りたりしない	・手をはさむ ・転倒、墜落 ・隙間から落下する	6	4	10	4	・開閉時に細心の注意をする ・ストッパーを確実にかける ・昇降の際は、昇降設備(階段・タラップ等)を横に置き使用する	作業員					
作	5) 墨出しする	<a href="https://www.sekouya.com">https://www.sekouya.com</a>										5	2	
	6) 天井、壁下地張り	<a href="https://www.sekouya.com">https://www.sekouya.com</a>										11	4	
業		・ビスの数を確認する。 ・ボードを下地に貼り付けタッピングビス等で取付ける。	・墜落・転倒の危険 ・手工具の落下 ・ビスを飲み込む					・腰袋を使用する ・ビスはボード面に対して直角に締め付け、又ビス頭はボード面より飛び出さないようにする。						
	7) 仕上げボード張り	・カドミウム、六価クロムメッキのビスの取り扱いに注意する。	・目等に埃が入る ・工具により感電する ・カッターで手を切る ・上向きで移動し、足場板を踏み外して転落する ・手工具の落下	10	2	12	4	・保護手袋をする ・足場の中心で、足元を良く確認し作業する ・腰袋を使用する	作業員	10	1	11	4	
	8) 点検口取付	・墨出し ・開口寸法を確認する。	・つまづきによる転倒 ・カッターで手を切る ・手工具の落下 ・踏み外しの危険	6	4	10	4	・足場上に物を置かない ・保護手袋をする ・腰袋を使用する ・足場板は隙間無く配置する	作業員	6	2	8	3	

足場板を固定する	整理整頓		作業終了後の片付け掃除
<p>足場用作業床（足場板を固定して使用する場合）</p> 			

区分	作業の手順	安全のポイント	予想される災害要因	重篤度	頻度	見積り	優先度	リスク低減措置	実施者	重篤度	頻度	見積り	優先度	備考
後片付け	1. 使用材、不要材 2. 仮設資材・道具 3. 作業場所の清掃 4. 事務所へ作業終了の報告をする。	・異常ないことを報告する	・つまづき ・移動中に転倒	3	2	5	2	・足元に注意する	作業者				2	

<https://www.sekouya.com>

1. 壁ボード貼り

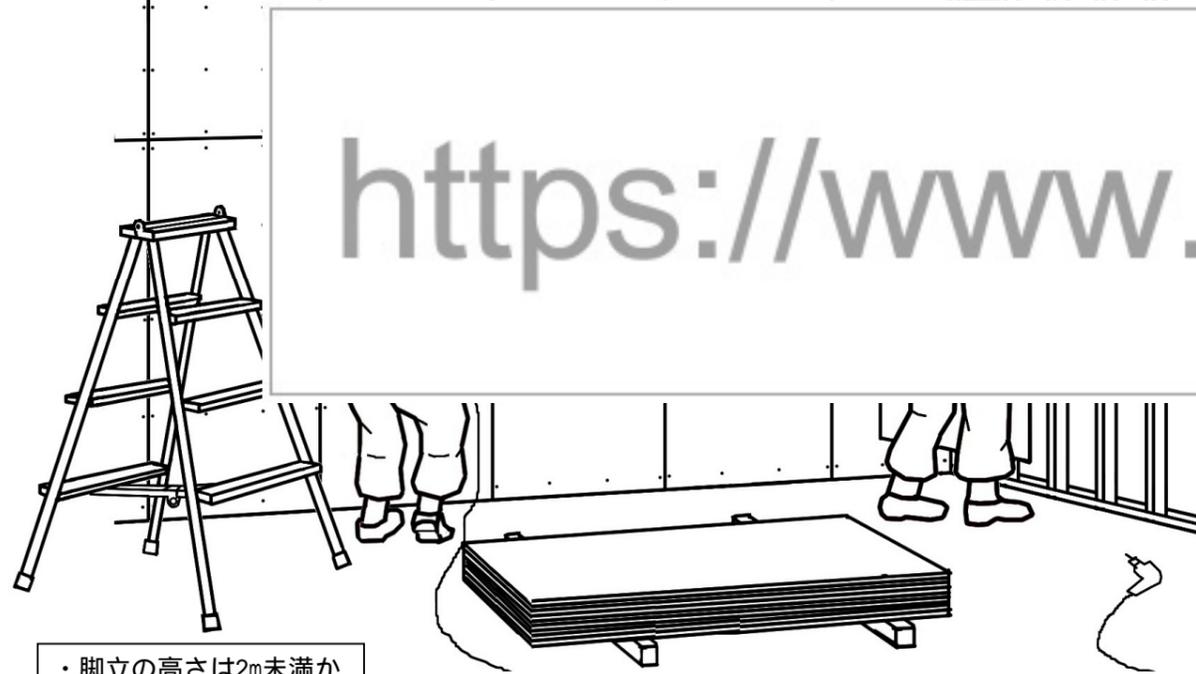
脚立単独使用

・単独使用の場合、踏面の付いているものを使用しているか

・無理な作業をしていないか  
(重量物の取扱い、反動のかかる作業等)

・開き止めは完全に開いているか

・設置場所は水平で安定した場所か  
(凹凸の床面、スロープ等は不適)



・脚立の高さは2m未満か

・天板に乗って作業していないか

・物を持ったまま昇降していないか

・脚部に滑り止めが付いているか

・開口部等、墜落の危険のある場所で使用していないか

・はしご等に使用していないか

1. 壁ボード貼り

脚立3点支持

・脚立、脚立足場上で反動のかかる作業をしていないか

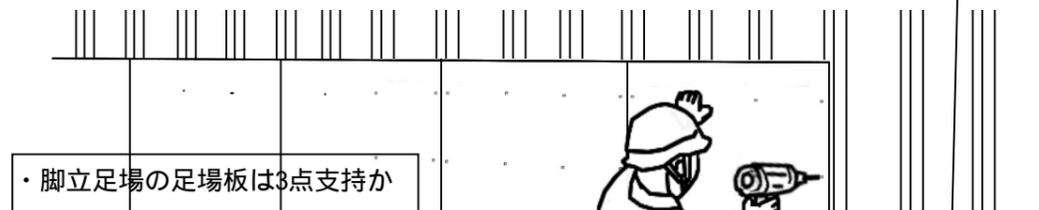
・開口部等、墜落の危険のある場所に設置していないか

・脚立の高さは2m未満か

・はね出し部分に乗って作業していないか

・設置場所(足元)は水平で安定した場所か

・足場板のはね出しは10cm以上20cm以下か



・脚立足場の足場板は3点支持か

・脚部に滑り止めが付いているか

・脚立の間隔は1.8m以下としているか

・無理な姿勢で作業をしていないか

・同じ高さの脚立を使用する

・脚立の開き止め金具は確実に開いているか

・物を持ったまま昇降していないか

1. 壁ボード貼り

ウマ使用 (木下地)

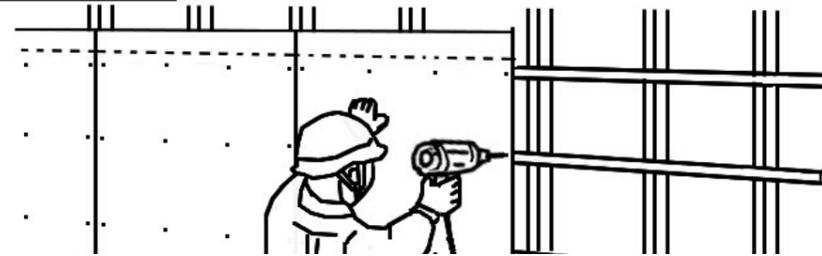
手に荷物を持って昇降していないか

最大重量を超えて使用していないか

作業台に向かって昇降していないか

天板は曲がっていないか?

天板は水平な状態で使用しているか



無理に押したり、引いたりしていないか

<https://www.sekouya.com>

踏さんの上で作業していないか

折たたみ金具から出ているか?

踏さんに曲がり変形はないか?

伸縮脚は上下に動くか?

天板の上で脚立等を使っていないか

脚調節装置は確実にロック(固定)されているか?

踏さんに曲がり変形はないか?

1. 壁ボード貼り

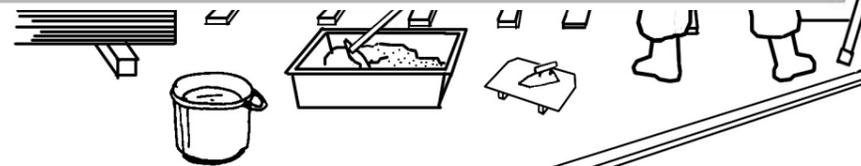
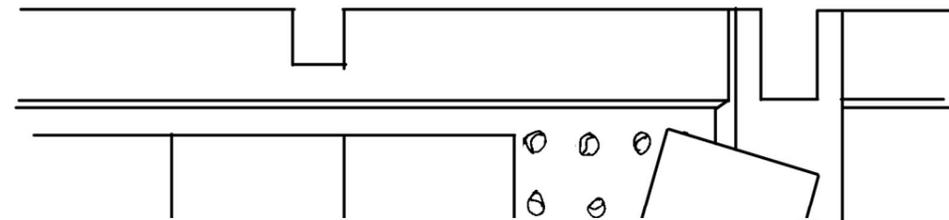
脚立単独使用 (GLボード)

・単独使用の場合、踏面の付いているものを使用しているか

・無理な作業をしていないか (重量物の取扱い、反動のかかる作業等)

・開き止めは完全に開いているか

・設置場所は水平で安定した場所か (凹凸の床面、スロープ等は不適)



・脚立の高さは2m未満か

・天板に乗って作業していないか

・物を持ったまま昇降していないか

・脚部に滑り止めが付いているか

・開口部等、墜落の危険のある場所で使用していないか

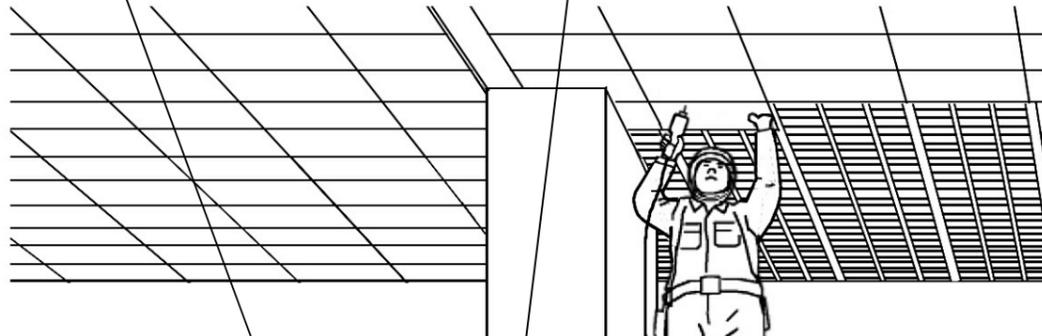
・はしご等に使用していないか

2. 天井ボード張り

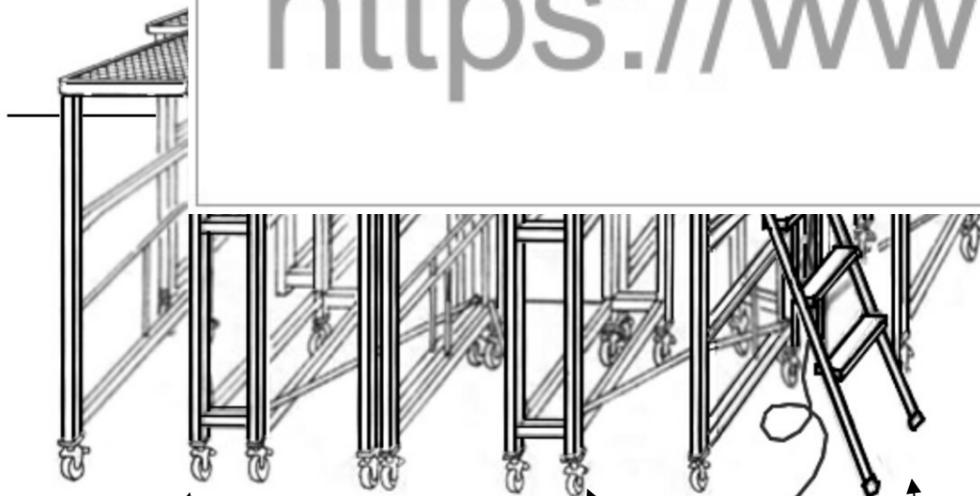
天井ボード貼り (マルチステージ)

隙間を確実に足場板等でふさぐ  
隙間からの墜落

足場上に物を置かない  
つまずき、転倒



<https://www.sekouya.com>



開閉時、危険表示部に手をおかない  
手をはさむ

昇降は昇降設備を使用する  
転倒、墜落

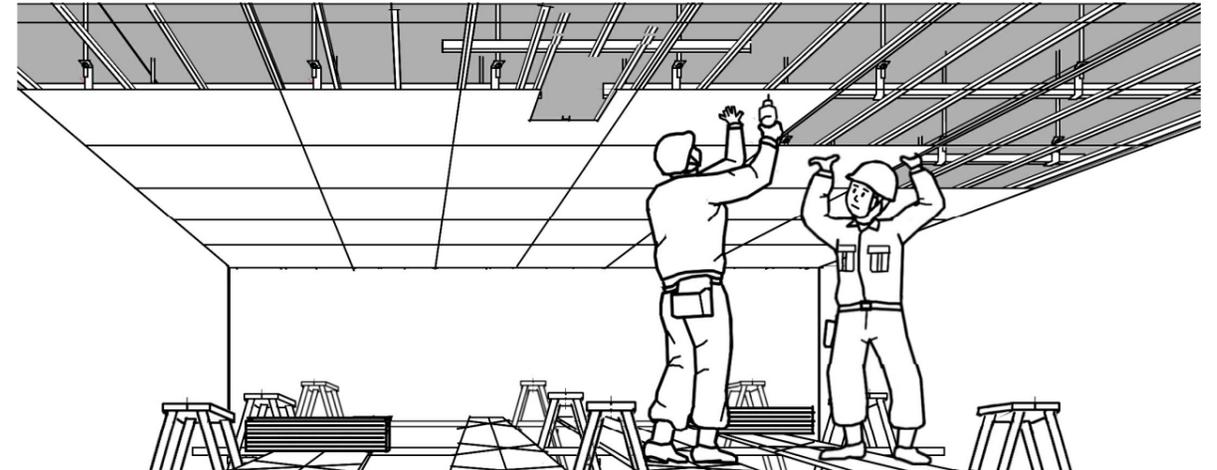
ストッパーを確実に掛ける  
滑動して墜落

2. 天井ボード張り

脚立足場

・ 同じ場所に多数のひとが  
一時に乗らない。

・ 不要なものは置かない。



・ 傾斜何里 100kg 以下。

足場板は、3点支持で、かつ踏み棧にゴムバンド等で固定する。  
 踏み棧がパイプとなっているものは現場へ持ち込まない。脚立 (踏み棧付き、幅 5cm 以上) を準備する。  
 脚立は 6 尺脚立までとし、高さ 2m 以上となる 9 尺脚立などは現場に持ち込まない。  
 脚立の立てる床面は、脚立の脚がめり込んだり、床の凹凸で脚が浮くようなことのない敷物を入れるなどの  
 処置をする。  
 脚立は、開き止めが完全に作動するまで十分に開く。  
 足場板はなるべく天端に掛け渡さず、1 段下又はそれ以下の所とする。  
 脚立と脚立との間隔は、1.8m 以下とする。  
 足場板の支点からの突き出しは、10cm 以上、かつ、足場板の 1/18 以下 (一般に 20cm 以下) とする。  
 足場板の支点上の重ね部分の長さは、20cm 以上とする。  
 長手方向へ重ねる場合は、支点の上で重ねかつその長さは 20cm 以上とする。  
 やむを得ず 2 点支持で使用する場合は  
 (1) 足場板を 2 枚重ねとする。  
 (2) 足場板の両はしをゴムバンド等で結束する。

2. 天井ボード張り

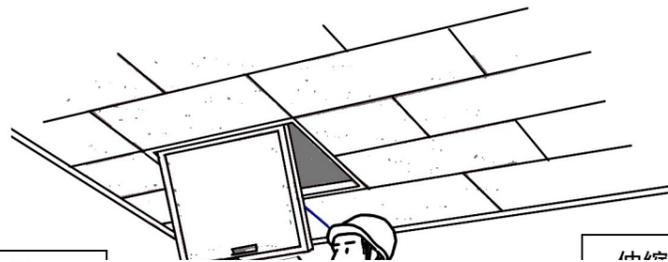
点検口取付け ウマ使用

手に荷物を持って昇降していないか

作業台に向かって昇降していないか

最大重量を超えて使用していないか

天板は曲がっていないか？



天板は水平な状態で使用しているか

無理に押ししたり、引いたりしていないか

<https://www.sekouya.com>

変形はないか？

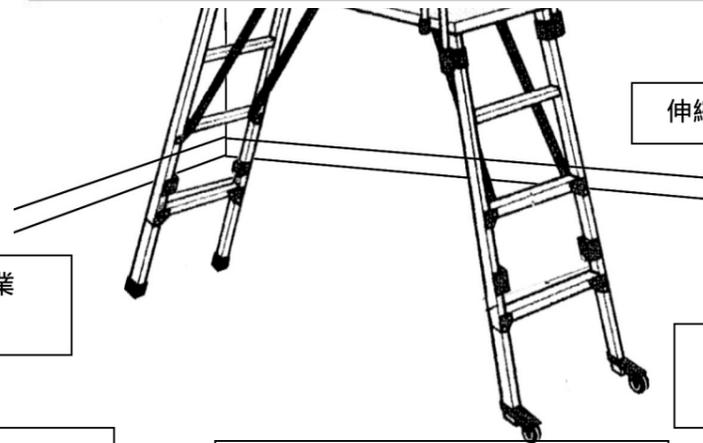
伸縮脚は上下に動くか？

踏さんの上で作業していないか

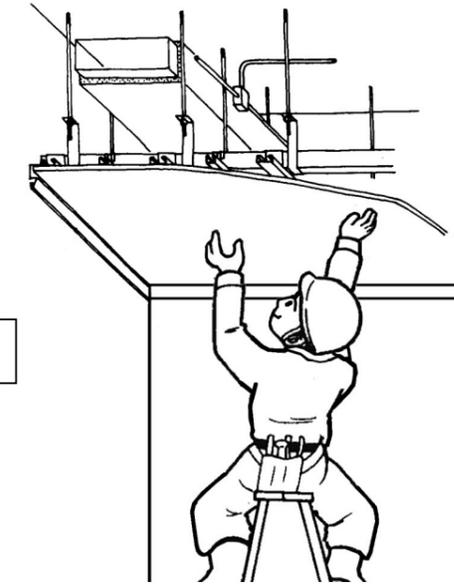
踏さんに曲がり変形はないか？

天板の上で脚立等を使っていないか

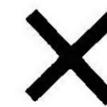
脚調節装置は確実にロック（固定）されているか？



2. 天井ボード張り



・真上の作業はしない



パイプ式キャタツ  
単独使用禁止

すべり止めのあるもの

安定の良い場所に据付ける

踏面は作業を安全に行うために必要な面積

75°

